

そう だい
総 題 「申命記に見る現代の真理」

だいじゅう に か
第 1 2 課
しんやくせいしよ み しんめいき
新約聖書に見る申命記

さな だ おさむ
真田 治

いち あんそくにち ご
1. 安息日午後

さんいくがくいん しんがつか べんきょう きゅうやくせいしよ せんせい く かえ おし
三育学院カレッジ神学科で勉強していたところに、旧約聖書の先生から繰り返し教えていただいたことが
あります。「イエスさまを探しながら旧約聖書を読みなさい」と。

「……と書いてある」(マタイ福音書 4 章 4 節など)とイエスさまが言われるのは、「旧約聖書に書いてある」
という意味です。「これは聖書の言葉が実現するためである」(マルコ福音書 1 4 章 4 9 節)等とイエス
さまが言われるのは、「旧約聖書に書いてあることが実現するため」という意味です。旧約聖書を読んでいると、
イエスさまと関係ある言葉が、たくさん見つかるのです。

きゅうやくせいしよ なか しんやくせいしよ いちばん いんよう しへん しょ しんめいき しん
旧約聖書の中で、新約聖書に一番たくさん引用してあるのは、詩篇とイザヤ書、それから申命記です。申
めいき しんやくせいしよ いんよう かしよ こんしゅう べんきょう
命記から新約聖書に引用されている箇所を今週は勉強しましょう。

に にちようび か
2. 日曜日：「……と書いてある」

ふくいんしよんしやういち じゅういつせつ よ
まず、マタイ福音書 4 章 1～11 節を読みましょう。

さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、「霊」に導かれて荒野に行かれた。そして四十日間、昼も夜
だんじき のち くうふく おも ゆうわく もの き い かみ こ いし
も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパ
ンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。

ひと
『人はパンだけで生きるものではない。

かみ くら で ひと ひと ことば い
神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』

と書いてある。」次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、言った。「神の子
なら、飛び降りたらどうだ。

かみ てんし めい
『神があなたのために天使たちに命じると、

あし いし う あ
あなたの足が石に打ち当たることのないように、

てんし て ささ
天使たちは手であなたを支える』

と書いてある。」イエスは、『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」と言われた。更に、悪
ま ひじょう たか やま つれ い よ くにくに はんえい み ふ
魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、「もし、ひれ伏してわたし

おが
を拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。すると、イエスは言われた。「退け、サタン。

『あなたの神である主を拝み、

ただ主に仕えよ』

と書いてある。」そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが来てイエスに仕えた。

新約聖書のマタイ福音書4章1～11節には、旧約聖書の申命記からの引用が3か所あります。

「人はパンだけで生きるものではない。

神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」

は、申命記8章3節から、イエスさまが引用なさったのです。

「あなたの神である主を試してはならない」

は、申命記6章16節から、イエスさまが引用なさったのです。

「あなたの神である主を拝み、

ただ主に仕えよ」

は、申命記6章13節から、イエスさまが引用なさったのです。

イエスさまは旧約聖書の申命記の言葉を引用なさって、「……と書いてある」と言われました。イエスさまは聖書の言葉を使って、悪魔からの誘惑に勝利なさいました。私たちも聖書の言葉を覚えて祈ることで、誘惑に負けないで勝利することができます。

3. 月曜日：人を偏り見ること

旧約聖書の申命記10章17節を読みましょう。

あなたたちの神、主は神々の中の神、主なる者の中の主、偉大にして勇ましく畏るべき神、人を偏り見ず、賄賂を取ることをせず

申命記10章17節に書いてある「人を偏り見ず」というのは、公平とか平等とかいう意味です。神さまは、どんな人のことをも、公平で平等に見てくださっています。

神さまが人々を公平で平等に見てくださるというのは、旧約聖書の申命記だけではなく、新約聖書にも同じ意味のことが書いてあります。たとえばローマ書2章11節には、「神は人を分け隔てなさいません」と書いてあります。

マタイ福音書5章43～45節で、イエスさまは「あなたがたも聞いており、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである」と言うておられます。神さまが公平で平等に人々を愛してくださるので、

わたし こうへい びょうどう ほか ひとびと あい きゅうやくせいしょ しんやくせいしょ か かみ ことば
私 たちも公平で平等に他の人々を愛することができます。旧 約聖書や新約聖書に書いてある神さまの言葉
を信じる人々は、 考 え方や行動が神さまに似たように変えられていくのです。

4. 火曜日：木の呪い

のろ ねが ねが
「呪い」というのは、だれかに悪いことが起こるようにと願うことです。だれかに良いことが起こるようにと願
う「祝 福」とは、呪いは反対の意味ですね。

しんやくせいしょ しょうさんしょうじっせつ のろ か りっぼう じっこう たよ もの
新約聖書のガラテヤ書 3 章 10 節にも、呪いのことが書いてあります。「律法の実行に頼る者はだれでも、
呪われています。『律法の書に書かれているすべての事を絶えず守らない者は皆、呪われている』と書いてあるか
らです。」ガラテヤ書 3 章 10 節には、 きゅうやくせいしょ しんめいき にじゅうななしょうにじゅうろくせつ りっぼう ことば まも
旧 約聖書の申命記 2 7 章 2 6 節の、「この律法の手紙を守り
行わない者は呪われる」という言葉から引用されているのです。

のろ ことば しょうさんしょうじゅうさんせつ か のろ
呪いという言葉は、ガラテヤ書 3 章 1 3 節にも書いてあります。「キリストは、わたしたちのために呪いと
なって、わたしたちを律法の呪いから 贖い出してくださいました。『木にかけられた者は皆呪われている』と書い
てあるからです。ガラテヤ書 3 章 1 3 節には、 しょうさんしょうじゅうさんせつ しんめいき にじゅういっしょうにじゅうさんせつ き
申命記 2 1 章 2 3 節の、「木にかけられた死体は、神
に呪われたものだからである」という言葉から引用されているのです。

りっぼう まも おこな もの のろ きゅうやくせいしょ しんめいき にじゅうななしょうにじゅうろくせつ しんやくせいしょ
律法を守り行わない者は呪われると、旧 約聖書の申命記 2 7 章 2 6 節にも新約聖書のガラテヤ
しょうさんしょうじっせつ か わたし りっぼう かんぜん まも おこな りっぼう ほか ひと
書 3 章 10 節にも書いてあります。私 たちは、律法を完全に守り 行 うことができません。律法には、他の人
をうらやましく思ったらダメだと書いてあります(十戒の第10 条)。私 たちは、他の人々をうらやましく思っ
たことが必ず一度以上 ありますので、私 たちは必ず呪われることになってしまいます。しかしキリストは、私
たちの身代りに呪いとなってくださいました。木で作られた 十字架にかけられて、私 たち人間の身代りに呪い
を受け入れてくださいました。木 (十字架) にかけられた人は呪われた人だと 旧 約聖書の申命記 2 1 章
2 3 節にも新約聖書のガラテヤ書 3 章 1 3 節にも書いてあるとおりに、イエス・キリストが 十字架にかけ
られて私 たちの身代りに死んでくださったので、もう 私 たちは呪われていません。私 たちは滅びません。私 たち
は天国で生きます。律法を守れないので呪われなければならないのは私 たちのはずなのに、律法を守られたイ
エスさまが 私 たちの身代りに呪われてくださったので、私 たちは呪われなくてもよくなったのです。イエス・キ
リストが 十字架にかけられて身代りに死んでくださったと信じる人は、呪いではなく 祝 福を受けて、永遠に
天国で生きることができます。信じる信仰によって生きるのです。ガラテヤ書 3 章 1 1 節に「律法によっては
だれも神の御前で義とされないことは、明らかです。なぜなら、『正しい者は信仰によって生きる』と書いてある
とおりです。

しん じゅうじか しん しゅくふく えいえん いのち い もの
信じましょう。 十字架のイエス・キリストを信じて、祝 福された永遠の 命 を生きる者とさせていただきま
しょう。

5. 水曜日：あなたのような預言者

きゅうやくせいしょ しんめいき じゅうはっしょうじゅう ごせつ よ
旧 約聖書の申命記 1 8 章 1 5 節を読みましょう。

あなたの神、主はあなたの中から、あなたの同胞の中から、わたしのような預言者を立てられる。あなたたちは彼に聞き従わねばならない。

申命記 18 章 15 節で「わたし」というのは、モーセのことです。モーセの後の時代にもモーセのような預言者が来ると書いてあるのです。後から来るモーセのような預言者とは、だれのことでしょうか？

新約聖書のヨハネ福音書 6 章 14 節には、「そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、『まさにこの人こそ、世に来られる預言者である』と言った」と書いてありますが、「世に来られる預言者」というのは、モーセのような預言者のことです。「イエスのなさったしるし」というのは、ヨハネ福音書 6 章 14 節の直前の 6 章 1～13 節に書いてありますが、イエスさまがパンを増やして多くの人々に食べさせた出来事です。イエスさまがパンを増やして食べさせてくれたので、人々は、旧約聖書に書いてあるモーセのような預言者というのはイエスのことだと思ったのです。次の 6 章 15 節には「イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでまた山に退かれた」と書いてあります。モーセの時代に 40 年間にわたって天からパンが降り続けた出来事をイエスさまによって起こしてほしいと、人々は期待したのです。一度や二度ではなく、ずっとパンを食べさせてくれる王さまになってほしいと、人々はイエスさまに期待しました。しかし、イエスさまは山に退かれました。イエスさまは、ずっとパンを増やし続ける王さまには、ならないからです。

もう一度、申命記 18 章 15 節を読んでみましょう。「あなたの神、主はあなたの中から、あなたの同胞の中から、わたしのような預言者を立てられる。あなたたちは彼に聞き従わねばならない。」

モーセのような預言者というのはイエスさまのことですが、イエスさまはパンをずっと増やし続ける預言者ではなく、人々がイエスさまの言葉に従わなければならない預言者です。イエスさまは人から頼まれて王さまになるのではなく、イエスさまは永遠の昔から宇宙全体を支配しておられる王さまなのです。永遠の宇宙の王であるイエスさまが、預言者のように言葉を伝えられます。私たちは、王であり預言者であるイエスさまの言葉を読んだり聞いたりして、イエスさまの言葉に従って生きます。

6. 木曜日：恐ろしいこと

今週のガイドの安息日の午後に、「イエスさまを探しながら旧約聖書を読みなさい」と書きました。申命記 17 章 6 節には「死刑に処せられるには、二人ないし三人の証言を必要とする。一人の証人の証言で死刑に処せられてはならない」と書いてあります。申命記 17 章 6 節を読んで、イエスさまのことで、あなたはどんなことを思い浮かべますか？ 旧約聖書の申命記 17 章 6 節を読んで、思い浮かべる新約聖書の箇所がありますか？

マルコ福音書 14 章 55～59 節を私は思い浮かべました。イエスさまが裁判にかけられている場面です。読んでみましょう。

祭司長たちと最高法院の全員は、死刑にするためイエスにとって不利な証言を求めたが、得られなかった。

多くの者がイエスに不利な偽証をしたが、その証言は食い違っていたからである。すると、数人の者が立ち上がって、イエスに不利な偽証をした。「この男が、『わたしは人間の手で造ったこの神殿を打ち倒し、三日あれば手で造らない別の神殿を建ててみせる』と言うのを、わたしたちは聞きました。」しかし、この場合も、彼らの証言は食い違った。

主イエスさまは、悪いことをなにもしていません。悪いことをなにもしていないイエスさまなのに、祭司長たちは、イエスさまを十字架で殺そうとして、ウソの証言でイエスさまのことを悪く言うのです。「偽証」の「偽」という漢字は「い」つわり」とも読むことがあり、ウソと同じ意味です。真実は1つですが、「ウソ八百」という言葉があるように、ウソはたくさんあります。たくさんあるから、一人一人バラバラなのです。だから、二人または三人の証言が一致するという、申命記 17 章 6 節の言葉どおりにはならなかったのです。

イエスさまに反対していた祭司長たちは旧約聖書を信じているつもりでしたが、二人または三人の証言が一致していない証人を立てたことから分かるように、旧約聖書の申命記 17 章 6 節にも反対する結果になりました。信じているつもりと、本当に信じていることとは、意味が違うのです。

私たちは信じているつもりではなく、本当に信じている本当の信仰を持ちたいと願います。

ヘブライ書 10 章 31 節には、「生ける神の手に落ちるのは、恐ろしいことです」と書いてあります。とても優しい神さまで。とても優しい神さまを信じている私たちは、神さまにお会いできるのを楽しみに待っています。しかし神さまに反対する人々にとっては、神さまに出会うのは「恐ろしいこと」です。

ヘブライ書 10 章 31 節の少し前、10 章 28、29 節を読んでみましょう。

モーセの律法を破る者は、二、三人の証言に基づいて、情け容赦なく死刑に処せられます。まして、神の子を足げにし、自分が聖なる者とされた契約の血を汚れたものと見なし、その上、恵みの霊を侮辱する者は、どれほど重い刑罰に値すると思いますか。

新約聖書のヘブライ書 10 章 28 節に「二、三人の証言に基づいて」と書いてあるのは、もちろん旧約聖書の申命記 17 章 6 節からの引用です。

律法というのは十戒だけのことでなく、十戒も含めた旧約聖書のことです。旧約聖書に書いてある一番大切なことは、神の御子キリストが救い主として来られ、信じる人々を救ってくださるということです。神の御子イエス・キリストを信じている人々を、神さまは救ってくださいました。しかし、神の御子に反対する人々は恐ろしい滅びを経験しなければならないと、ヘブライ書 10 章 28 節で警告されているのです。

まだ主イエス・キリストを信じていない人々には、早く信じるように伝えましょう。そして、まだ信じていない人々が信じることができるよう、祈りましょう。信じているつもりではなく本当に信じる人々が増えるよう、毎日お祈りしてください。

7. 金曜日：さらなる研究

日曜日に学んだマタイ福音書 4 章 1～11 節を、もう少し詳しく考えたいと思います。

「人はパンだけで生きるものではない。

かみ くち で ひと ひと ことば い ふくいんしよんしやうよんせつ
神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」(マタイ福音書 4 章 4 節)

は、^{しんめい き ろくしやうさんせつ}申命記 8 章 3 節から、^{いんよう}イエスさまが引用なさったんですね。

「^{かみ しゅ ため}あなたの神である主を試してはならない」(マタイ福音書 4 章 7 節)

は、^{しんめい き ろくしやうじゅうろくせつ}申命記 6 章 1 6 節から、^{いんよう}イエスさまが引用なさったんですね。

「^{かみ しゅ おが}あなたの神である主を拝み、

^{しゅ つか}ただ主に仕えよ」(マタイ福音書 4 章 10 節)

は、^{しんめい き ろくしやうじゅうさんせつ}申命記 6 章 1 3 節から、^{いんよう}イエスさまが引用なさったんですね。

^{かみ くち ひと ひと ことば たいせつ い}神の口から出る一つ一つの言葉が大切だと、^{かみ ことば つた よげんしや}イエスさまは言われました。神の言葉を伝えるのは預言者の
^{やくわり しゅ よげんしや かみ ことば ほんとう ただ つた}役割です。主イエスさまは、まことの預言者でいらっしやいます。神さまの言葉を、本当に正しくお伝えになっ
たからです。

^{しんでん やね と お あくま ゆうわく たい かみ しゅ ため}神殿の屋根から飛び降りるようという悪魔からの誘惑に対して、イエスさまは「あなたの神である主を試し
てはならない」とお答えになりました。^{しんでん ひとびと つみ み がわ ぎせい ひとびと すく ば}神殿は、人々の罪の身代りに犠牲がささげられて、人々を救うための場
所でした。^{しよ かみ ひとびと すく しんでん あくま かみ ため あくよう}神さまが人々を救うための神殿を、悪魔は、神さまを試すために悪用しようとしたのです。だからイ
エスさまは、^{ひとびと すく かみ ため あくま たい こた しんでん と}人々を救ってくださる神さまを「試してはならない」と悪魔に対して答えられたのです。神殿は、飛
び降りる場所ではなく救う場所なのです。^{お ぼしよ すく ぼしよ ひとびと すく しんでん はたら さいし}人々の救いのために神殿で働いているのは祭司でした。イエスさまは、
まことの^{だいさいし ひとびと つみ すく はたら ひとびと つみ すく}大祭司でいらっしやいます。人々を罪から救うためにイエスさまは働 き、人々を罪から救うためにイエ
スさまご自身が身代りに死んでくださったからです。

^{あくま おが あくま ゆうわく かみ しゅ おが しゅ つか}悪魔を拝むように悪魔から誘惑されたとき、イエスさまは、「あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ」
という^{しんめい き ろくしやうじゅうさんせつ ことば いんよう あくま おが しゅ えいえん うちゅう しい}申命記 6 章 1 3 節の言葉を引用して、悪魔を拝みませんでした。主イエスさまは、永遠の宇宙を支配
する^{ほんとう かみ おう よ あくま しい み ほんとう}本当の神で、まことの王でいらっしやいます。この世を悪魔が支配しているかのように見えても、じつは本当
の^{しいしや ほんとう おう}支配者はイエスさまでいらっしやいます。本当の王さまはイエスさまなのです。

イエス・キリストは、^{よげんしや だいさいし おう}まことの預言者、まことの大祭司、まことの王です。

「キリスト」という言葉の元々の由来は、「^{ことば もともと ゆらい あぶら そそ もの きゅうやくせいしよ あぶらそそ もの よげんしや}油 を注がれた者」です。旧 約聖書で油 注がれた者とは、預言者
と祭司と王でした。それぞれ役割が違うのです。しかし、^{さいし おう やくわり ちが よげんしや さいし おう やくわり ひとり にな かた}預言者と祭司と王の、ぜんぶの役割を 1 人で担った方
がいらっしやいます。イエスさまです。イエスさまは 1 人で^{ひとり よげんしや さいし おう やくわり な と}預言者と祭司と王の役割の、すべてを成し遂げられま
した。イエスさまは本当の「^{ほんとう あぶらそそ もの ほんとう}油 注がれた者」、本当のキリストなのです。

^{あくま ゆうわく きゅうやくせいしよ ことば つか こた あくま しょうり}悪魔からの誘惑に、イエスさまは旧 約聖書の言葉を使って答えて、悪魔に勝利なさいました。イエスさま
は、「^{わたし ほんとう つた しょうり}私は本当のキリストである」と伝えて、勝利されたのです。

^{みな きゅうやくせいしよ よ かんが きゅうやくせいしよ よ さが}皆さん、旧 約聖書を読み、ときもイエスさまのことを考 え、旧 約聖書を読みながらもイエスさまを探してみ
ましょう。^{せいしよ か しょうり}聖書に書いてあるイエスさまのことが分かつと、勝利されたイエスさまによって救われていることが、
よく分かるようになります。^{わ おう だいさいし よげんしや しゅ めぐ みな うえ ゆた そそ}王・大祭司・預言者である主イエスさまの恵みが、皆さんの上に豊かに注がれます
ように。